

# グルジア政治・経済 主な出来事

【2014年2月10日～2014年2月16日】

[当地報道をもとに作成]

平成26年2月21日

在グルジア大使館

## 主な動き

### 1. アブハジア・南オセチア

#### 【アブハジア】

##### ▼ロシアからアブハジアへ入る外国人の査証取得手続きが簡素化される(10日)

・アブハジア「当局」の発表によれば、ソチ冬季五輪期間中の臨時的な措置として、2月10日以降、ロシアからアブハジアに入る外国人は査証を直接に国境上のアブハジア「外務省領事部」で取得することができる。これまで旅行者はアブハジアに入った後に一旦ソフミを訪れて査証を取得しなければならなかった。グルジア側からアブハジアに入る外国人に関しては従来通り。

・同措置について、グルジア外務省は、「グルジアの主権・領土一体性に対する新たな挑発であり、外国市民を誤りに導くことを図ったものである」との声明を発表。

##### ▼2013年の税収・貿易額(10日)

・アブハジア「当局」の発表によれば、2013年の税収は2,037百万ルーブル。うち関税768.1百万ルーブル(前年比97.2百万ルーブル増)。

・2013年の輸出額2,689.6百万ルーブル(前年比6.1%増)、輸入額15,272.9百万ルーブル(同10.2%増)。輸出額の約60%はワイン。貿易相手国はロシア(貿易額の62%)とトルコ(同14%)、バルト諸国、モルドバ、ドイツ、ウクライナ、中国。

### 2. 外 政

#### ▼プーチン露大統領の発言(10日)

・10日、プーチン露大統領はソチの五輪メディアセンターを視察中、記者に対し、グルジアの選手がソチ冬季五輪に参加していることが「とても喜ばしい」として、「五輪がグルジアとの関係構築に役立っていることを嬉しく思う。グルジアの選手たちの成功を祈る」と述べた。また、記者からグルジア大統領と会う可能性について尋ねられ、「もし(グルジア大統領が)望むなら会わない理由はない」と発言。

・マルグヴェラシヴィリ大統領は、プーチン露大統領の発言について記者に対し、「もし会談がグルジア・ロシア関係に良い刺激を与える可能性があるのなら、また、もし非常に困難な問題について議論する真剣な用意があるのなら、その可能性について国内で議論し、西側のパートナーとも協議する」とコメント。

・パンジキゼ外務大臣は、「グルジアとロシアの大統領の会談の可能性を排除しないが、準備のための時間が必要である。グルジア政府には会談を行なう用意があるが、

もし会談を行なうならば、何らかの具体的な結果が得られねばならない」「昨年、我々はアバシゼ対露関係首相特別代表とカラシン露外務次官の会談による具体的な成果を目にした。これは良いフォーマットであるが、我々の主要な問題を解決するものではない。グルジア外交の優先課題は国の非占領化と統一である」と述べた。

・カラゼ副首相兼エネルギー大臣は、プーチン露大統領はガリバシヴィリ首相とも会うべきであると発言。12日、「ガ」首相はTVで「ロシア政府の指導部と直接に対話する用意がある」「EUやNATO、米国の指導者たちはグルジアがロシアと建設的な対話を続けていることを高く評価している」と述べた。

#### ▼ウスパシヴィリ国会議長がルーマニアとハンガリーを訪問(10日-14日)

・与野党の議員団が同行。ルーマニアではコルラツェアン・ルーマニア外務大臣と会談。「コ」外務大臣はソチ五輪後のグルジアをめぐる状況の見通しについて話した。

・11日、ルーマニア国会を訪問。ルーマニア国会はグルジアの領土一体性およびEU・NATOへの加盟を支持する決議を全会一致で採択した。ズゴネア・ルーマニア国会議長は「ウ」国会議長にグルジアとルーマニアの専門家による経済フォーラムの開催を提案した。

・ハンガリーではアデル・ハンガリー大統領、キョヴェル・ハンガリー国会議長、ヘンデ・ハンガリー国防大臣、ネメト・ハンガリー外務大臣と会談。

#### ▼MAPに関するアラサニア国防大臣の発言(10日)

・10日、TV局「ルスタヴィ2」のインタビューで、アラサニア国防大臣は、9月にウェールズで行なわれるNATO首脳会議でグルジアはNATO加盟により近づくための「新しい約束」を与えられる可能性が高いが、それがメンバーシップ・アクションプラン(MAP)であるのか他の何かであるのかはまだ決まっていないと述べた。

・ウスパシヴィリ国会議長は、NATO首脳会議について「楽観的である」としつつ、「グルジアはNATO首脳会議において更なる前進を期待している。どのような表現になるのかはまだ分からないが、前進を確認する決定が下されると信じている」と述べた。

#### ▼バルテルスNATO軍事委員会委員長がグルジアを訪問(11日-12日)

・マルグヴェラシヴィリ大統領、ガリバシヴィリ首相、アラサニア国防大臣と会談。

・会談後の共同記者会見で「マ」大統領は、「グルジアの民主的な発展および国防分野における達成が今年のNATO首脳会議で適切に評価されるよう期待している」

と述べた。「バ」委員長は「NATO とグルジアとの軍事協力は建設的かつ実際的で他の模範である」「NATO は 2008 年の首脳会議で、条件を満たした暁にはグルジアが NATO に加盟することを約束した。グルジアで推し進められた改革により、今やグルジア・NATO 間ではあらゆるレベルの軍事協力が可能である。我々は改革を支持し続ける」と述べた。

#### ▼「国境なき記者団」による2013年の報道の自由度ランキング(12日)

・180 カ国中 84 位。前年より 17 位上昇。アルメニア 78 位、ロシア 148 位、アゼルバイジャン 160 位。日本 59 位。

・「国境なき記者団」はグルジアの順位の上昇に注目しつつ、国内メディアの二極化を懸念。

#### ▼マルグヴェラシヴィリ大統領がアゼルバイジャンを訪問(12日-13日)

・アゼルバイジャンのアリエフ大統領、ラシザデ首相、アサドフ国民会議議長と会談。アリエフ・アゼルバイジャン大統領は、会談後に行なわれた記者会見で、「我々は両国の領土一体性について常に互いに支持し合ってきた。両国の領土一体性は著しく侵害されている」と述べた。

「マ」大統領は、両国が領土一体性に関して「深刻な問題」を抱えているとして、「両国がこれらの問題の平和的な解決に向けて最も正しい道を進んでいると信じている。我々は両国の繁栄、重要な共同プロジェクトの実施を通してこれらの問題を解決を図っている」と述べた。

・13 日、「マ」大統領はアゼルバイジャン北部のガバラ、北西部のガフを訪れ、現地に暮らすグルジア人らと面会した。

#### ▼中央アフリカ共和国でのEUの軍事活動へのグルジア軍の参加の可能性(16日)

・16 日、アラサニア国防大臣は、グルジアが EU から中央アフリカ共和国での軍事活動への参加を要請されたとして、記者に「要請について検討しているところであり、決定がなされ次第発表する」と述べた。同日ザルカリアニ外務次官は、記者に「グルジアは安全保障の消費者であるだけでなく、貢献者とならねばならない。世界の安全保障に貢献を果たすのは重要なことである」と述べた。

・2 月 10 日、EU は、人道支援を実施する環境をつくりだすため、中央アフリカ共和国の首都バンギ地域の治安回復に向けた最大 6 カ月間の軍事活動を行なうことを承認。ロイターは、2 月 13 日にブリュッセルで行なわれた会議で、グルジアがカナダ、ノルウェー、セルビア、トルコ、米国とともに中央アフリカでの EU の活動に参加する用意があることを表明したと報道。

### 3. 内 政

#### ▼野党所属の地区議員の逮捕(10日)

・10 日、ホニ地区のジブハイア地区長とチェリゼ副地区長が、2010 年に公金流用、権力濫用および詐欺を働き、

国庫に 12,580 ラリ相当の損害を与えたとして逮捕された。12 日、クタイシ市裁判所は両名の審理前勾留を決定。

・11 日、ドゥシェティ地区議会のオティアシヴィリ議長が、地区長を務めていた 2009 年に権力濫用、詐欺および収賄を犯したとの容疑で逮捕された。

・3 名はいずれも野党「統一国民運動」(UNM) 所属 (現在 UNM 所属の地区長は全国で 3 名のみ)。14 日、UNM は外交団を招いて会見を開き、逮捕が政治的な動機に基づくものであると主張。

・14 日、青年法律家協会、Transparency International Georgia、「公正な選挙と民主主義のための国際社会」など 7 つの NGO は、「このような逮捕は選挙環境の公正さに関する疑念を呼び起こす」として、選挙前の野党政治家の不要不急の逮捕を慎むよう検察に呼びかける共同声明を発表。

#### ▼ミザンダリ文化・遺跡保護省次官の解任(10日)

・「ミ」次官が勝手な行動をしたとしてオディシヤリア文化・遺跡保護大臣がガリバシヴィリ首相に解任を要求。「ガ」首相が承認した。

#### ▼トビリシ市の2014年予算を巡る対立(12日)

・トビリシ市議会はトビリシ市庁舎の提出した 2014 年を、昨年末に続いて再び否決。

・予算が 3 月 11 日までに承認されなければ中央政府が市議会と市長を解任し、任期 45 日間の市長代行を任命する権限を得る。

### 4. 経 済

#### ▼グルジア国立銀行が公定歩合を4%に引き上げる(12日)

・過去 2 年半で公定歩合は 8% から 2008 年 1 月以降最低の 3.75% まで下げられたが、「金融緩和策を維持する必要はなくなった」として、初めて引き上げられた。1 月の年間インフレ率は 2.9%。国立銀行は 2014 年末の政府の目標インフレ率 3.5% が今年後半に達成されると見込む。

#### ▼Geocellに対する脱税の疑い(14日)

・ハドゥリ財務大臣は、グルジア最大の携帯電話会社の一つ Geocell (スウェーデン・フィンランドの通信会社 TeliaSonera グループ系列) に対する脱税の調査を開始したと発表。

#### ▼2014年1月の工業製品生産者物価指数(14日)

・2014 年 1 月の工業製品生産者物価指数は前月より 2.3% 上昇。前年同月比 0.5% 低下。

#### ▼スネル国際通貨基金専務理事とホームスケルク世界銀行専務理事がグルジア国立銀行を訪問(14日)

・両氏はカダギゼ・グルジア国立銀行総裁と会談し、グルジア経済と通貨政策について議論。会談後、「ス」IMF 専務理事は「我々はグルジアの通貨政策を評価している」「グルジアの最近の成長予測は楽観的であり、最も大きな課題は高い失業率である。外国の投資家を引きつけるマクロ経済環境が整備されねばならない」と話した。